

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団の消防団による消防団のための指揮体制

自治体名

豊橋市

消防団名

豊橋市消防団

1 事業の目的

本事業の目的は、常備消防が持つ指揮管理の知識・経験・体制を消防団組織に取り入れることで消防団の指揮体制を確立し、効率的な部隊運用と安全管理の徹底を図る。

2 事業内容

消防団幹部（消防団長、方面隊長、方面隊副隊長）に対し、常備消防指揮隊が分団指揮教育を行います。同時に消防団幹部が使用する指揮管理用資機材を配備する。

火災時には消防団幹部が「消防団現場指揮本部」を設置することで、常備消防指揮隊と連携し消防団の現場指揮を執る。

風水害等の広域災害時には消防団幹部が「消防団方面隊本部」を管轄の消防署に設置し、各分団への指示と情報の集約を行う。



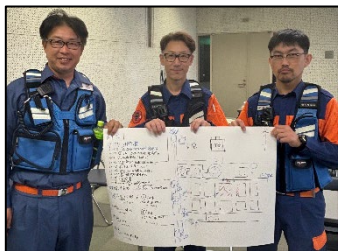
〈常備消防指揮隊による現場指揮教育〉



〈常備消防指揮隊との連携訓練①〉



〈火災現場で分団から情報を集約する副隊長〉



〈消防団員が作成した火災戦闘図〉



〈常備消防指揮隊との連携訓練②〉



〈実災害における連携の様子〉

3 事業成果

消防団現場指揮本部設置率のみ当初目標を達成できなかったが、年間を通じて80%を超える高い水準を維持することができた。

最大の目標であった現場活動における公務災害をなくすことについては無事達成することができた。消防団現場指揮本部と消防団方面隊本部が設置され、効率的な部隊運用と安全管理の徹底が図られた結果だと考える。

4 目標達成状況

設定目標	単位	当初目標	実績値
常備消防指揮隊による現場指揮教育	%	受講率100%	受講率100%
活動を伴う建物火災での消防団現場指揮本部設置	%	設置率100%	設置率80.95%
風水害等により消防団参集基準を満たした場合の消防団方面隊本部設置	%	設置率100%	設置率100%
出動した火災への活動検証	回数	5回	8回
消防団員の公務災害	件数	0件	0件

5 その他参考情報



豊橋市消防団のホームページになります。

各種マニュアル等を掲載することで、団員がいつでも個人のスマホで確認できるようにしています。